

この度は、平成23年4月4日から5月10日までの約1ヶ月間の徳島大学での気管挿管実習にあたり麻酔科の先生方をはじめ、病院関係者の方々には、多大なる御協力を頂き深く感謝申し上げます。

実習では当然のことながら人形相手にしていた訓練とは違い、実際の手術室で患者に挿管を行う時の緊張感は半端ではなく、無事挿管出来ていることを確認できるまでは緊張のし通しでした。この緊張感は、実習の最後まで無くなることはありませんでしたが、担当の先生方に御教授頂き、無事に実習を終えることができました。

また、患者さんに実習の同意を頂く際には、担当の先生方の貴重な時間を割いて丁寧な説明をして下さったおかげで、快く同意して頂くことができました。この場をお借りしてお礼申し上げます。

今後は、救急救命士の気管挿管実習に対して御理解・御協力頂いた30名の方々の感謝の気持ちを忘れることなく、この実習で学んだ多くのことを救急活動に活かすべく、より一層の努力と精進を積み重ねて行きたいと思っております。

最後に、今後も板野東部消防組合の救急救命士が気管挿管実習でお世話になると思いますが、その際には御教授のほど宜しくお願い致します。



板野東部消防組合
山内大輔